

2024年度 事業報告

専務理事 西岡 令子

I. 看護教育及び学会等学術振興に関する事業（公益目的事業）

事業内容	
1. 看護職の継続教育の推進	
1) 「看護の将来ビジョン」達成に向けて、質の高い看護人材を育成する教育プログラムの企画・実施・評価	教育計画「ブロード」版の作成、全会員に配付 オンライン研修システムマナブルに掲載 教育研修実施録の作成
2) 研修内容	全部で67研修と学会1の68コースを実施 受講・参加延べ人数3,922名（詳細は一覧表参照）
(1) 「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育	(1) 28研修 計986名受講
(2) ラダーと連動した継続教育	(2) 11研修
①継続教育	① 10研修 計510名受講
助産師実践能力習熟段階（CLoCMip®）	② 1研修 計18名受講
(3) 看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育	(3) 3研修 計91名受講
(4) 専門能力開発を支援する教育体制の充実に向けた継続教育	(4) 10研修 計1,419名受講
(5) 資格認定教育	(5) 10研修
①認定看護管理者教育課程ファーストレベル	① 6/11～7/24（22日間）56名修了
②ファーストレベル公開講座	②2研修 計21名受講
③認定看護管理者教育セカンドレベル	③10/15～12/19（32日間）26名修了
④セカンドレベル研修修了者のためのオープン講座	④3名受講
⑤セカンドレベル公開講座	⑤2研修 計14名受講
⑥セカンドレベル実践報告会	⑥修了者25名、修了者以外13名
(6) 看護基礎教育を充実させるための継続教育	(6) 5研修 計158名受講
(7) 委員会活動と連動した交流会・研修	(7) 14交流会・研修 計330名参加・受講
2. 奈良県受託事業に関する研修	上記2) 研修内容の再掲
1) 看護職員資質向上推進事業	
(1) ①実習指導者講習会（一般分野）	(1) ①6/27～9/6（うち27日間）78名修了
②実習指導者講習会（特定分野）	②6/27～9/6（うち9.5日間）9名修了
(2) 看護教員継続研修	(2) 8/20・R7.3/18（2日間）計50名受講
2) 新人看護職員研修事業	
(1) 新人看護職員集合研修	(1) 5/16～1/24（うち5日間）86名受講
(2) 2年目フォローアップ研修	(2) 10/8 79名受講
(3) 新人集合研修公開講座	(3) 9/12 22名受講
(4) 実地指導者研修	(4) 10/10～1/28（うち4日間）93名受講
(5) 研修責任者・教育担当者研修	(5) 10/10～1/15（うち3日間）65名受講
3) 訪問看護推進研修事業	
奈良県訪問看護師養成講習会～訪問看護eラーニング活用～	1) 7/1～12/31（eラーニング6か月） 8/1・9/7・9/26・1/22（集合研修4日間） 11/1～12/20（実習3日間） ※10/31までにeラーニング修了者対象 延べ101名修了（うち公開講座34名）

4) 看護職員認知症対応力向上研修	e ラーニング修了 17 名 全日程修了者 16 名 10/31・11/1・11/13 (3 日間) 58 名受講 56 名修了
5) 病院勤務以外の看護師等認知症対応力向上研修	1/2 3 32 名受講 32 名修了
3. 日本看護協会 DVD 研修	8/26～27 92 名受講 92 名修了
1) 認知症高齢者の看護実践に必要な知識	5/28 89 名受講 89 名修了
2) 看護補助者の活用推進のための看護管理者研修	12/14 (土) 奈良県看護研修センター テーマ「看護の継承と進化」 参加者 131 名 (オンライン 32 名含む) 発表演題 口演 14 題
4. 奈良県看護学会	日本看護協会からのオンデマンド研修後、 11 月 8 日 集合研修 医療安全検討委員会が運営 54 名修了
5. 医療安全管理者養成研修 (日本看護協会主催)	

II. 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業 (公益目的事業)

事業内容	
1. ナースセンター事業 (奈良県受託事業)	40～42 ページ参照
1) ナースバンク事業 無料職業紹介所	1) 相談日: 月～金曜日 9:00～16:30 場所: 奈良県看護研修センター 相談方法: 電話・メール・来所
(1) NCCS システムによる登録・管理	
(2) 求人・求職者に対する相談及び紹介・連絡調整	
(3) 求人・求職に関する情報提供	
(4) 求人・求職動向の把握	
(5) 離職時等の届出制による登録推進と潜在看護職の把握	
(6) 「病院ガイド」作成・協会ホームページ掲載	(6) 看護学生、看護職の就職相談等の活用
(7) 出張相談	
①奈良県女性センター (奈良県福祉人材センター共催)	①月 1 回 計 11 回 就業相談 6 名・進路相談 0 名・求人 1 件
②ハローワーク奈良	②月 2 回 計 23 回 就業相談 45 名・進路相談 0 名・求人 0 件
③ハローワーク大和高田	③月 2 回 計 24 回 就職相談 9 名・進路相談 0 名・求人 0 件
④ハローワーク大和郡山	④月 1 回 12 回 就職相談 13 名・進路相談 0 名・求人 1 件
⑤介護職 看護職面接／相談会 (ハローワーク大和高田)	⑤月 1 回 計 12 回 就職相談 11 名・進路相談 0 名・求人 1 件 年 1 回
(8) ナースセンター事業運営協議会	(8) 24 ページ参照
(9) 他機関との連携	
①会議 ・ナースセンター・ハローワーク連携事業 連絡調整会議	①23 ページ参照
(10) 他団体との連携	
①日本看護協会中央ナースセンター ・ナースセンター事業担当者会議 ・2024 年度地域に必要な看護職確保推進事業 実施要項・説明会 ・ナースセンター事業担当者情報交換会	①22 ページ参照

②近畿地区看護協会人材確保定着会議 ③公共職業安定所 ・ハローワーク連携事業（奈良・大和高田） ・事業周知チラシ掲示依頼 ・求人情報の提供、求人情報誌の配布 ・看護職セミナー ㊦ハローワーク奈良 ㊧ハローワーク大和高田 ・看護補助者セミナー - ハローワーク奈良 - ハローワーク大和高田 - ハローワーク桜井 ・看護補助者オンデマンド研修 - ハローワーク奈良 - ハローワーク大和高田 ・就職応援フェア ④奈良県福祉人材センター（出張相談） ・福祉の就職総合フェア ⑤奈良県女性センター ・求人情報誌の配布 ・事業周知チラシ情報配布 ⑥奈良県医療勤務環境支援センター (11) 看護職員就業状況調査 調査のねらい：看護職の働き方改革推進や就労支援を行うために活用する。 調査集計を各病院に報告：2025 年 1 月 (12) 事業実施報告 2) 看護職員復職応援事業（奈良県受託事業） (1) 看護職復職支援研修（講義・病院、施設等実習） (2) 採血演習（シミュレーターを使用） 2. ナースセンター機能強化事業（奈良県受託事業） 1) 看護師等免許保持者の届出制度「とどけるん」 離職時等の届出支援・管理 2) 届出制度 PR 3) セカンドキャリアナース研修 4) 進路・キャリア UP 相談 (1) 看護学校進学ガイダンス (2) 看護職の進学や看護職を目指す方からの相談・問合せ	②22 ページ参照 ③求人 0 名 求職者 31 名 就業者 13 名 県内 3 カ所のハローワークより月 1～2 回 年 12 回 ㊦11 月 6 日 参加数：10 名/就職者数：2 名 ㊧10 月 16 日 参加数：8 名/就職者数：6 名 42 ページ参照 6 月 28 日・8 月 28 日・11 月 20 日・ 11 月 29 日・2025 年 2 月 13 日・3 月 13 日 場所：王寺町地域交流センター ミグランス橿原市役所分庁舎 奈良県コンベンションセンター 相談者数：14 名 ④2025 年 3 月 16 日 場所：奈良県コンベンションセンター 相談者数：9 名 ⑤年 12 回 ⑥セカンドキャリアナース研修会講師派遣 依頼 時期：8 月 (11) 奈良県内 74 病院勤務の常勤看護職の 就業状況（離職率）調査 (12) 県、奈良労働局、中央ナースセンタ ー 40～42 ページ参照 40～42 ページ参照 40～42 ページ参照 公共機関・ミニ面接会・看護学校・奈良県 病院看護管理者協議会・奈良県看護学教育 協議会・看護協会会員・病院、施設等に郵 送 3) 40～42 ページ参照 (1) 42 ページ参照 (2) 出張相談時等
--	---

対応、情報提供 (3) 看護職をめざす方へのパンフレット作成 「看護への道」・「看護専門学校等募集要項」 (4) 行政、大学、企業等の看護学生の就職相談会の協力 ① 奈良県立医科大学医学部看護学科 就職ガイダンス ② 畿央大学講義 5) 看護職メンタル相談事業 (1) 相談窓口（予約制） 6) 広報活動 (1) 看護学生にナースセンターをPR（講義） (2) 求人情報発行 (3) 看護協会広報誌「看護なら」掲載（ナースセンターだより） (4) 出張相談案内チラシ (5) 看護協会ホームページへ事業紹介・情報提供 (6) ポスター、チラシ作成・掲示依頼 (7) 県ホームページ等情報提供 (8) ナースセンター事業紹介 ① 実習指導者講習会 ② ファーストレベル ③ セカンドレベル 3. 「看護の心」啓発・普及事業 1) 看護の出前授業：「みんなで話そう-看護の出前授業」 奈良県看護協会 主催 「看護の日・看護週間」事業（厚生労働省・日本看護協会主催・文部科学省後援） 2) ふれあい看護体験 3) お仕事体験博 4. 各賞候補者の推薦 1) 叙勲 2) 奈良県看護功労者知事表彰 3) 日本看護協会会長表彰 4) 奈良県看護協会会長表彰 5) 母子保健奨励賞 5. 看護労働環境改善推進委員会 6. 医療安全検討委員会 7. 看護補助者標準研修	(3) 1300 部/年 1 回 講演：飯尾美和 4 月 1 日 講演：春木邦恵 12 月 16 日 40～42 ページ参照 (1) 奈良県内看護学校：3 校 対象者：3 年生等看護学生・教員 参加者：学生 86 名・教員 5 名 他看護学校には、ナースセンターのチラシ、リーフレット郵送 (2) 年 12 回 (3) 年 2 回 (6) 配布先：病院・施設、公共機関、商業施設等 6 月 27 日（小田由美子） 6 月 11 日（小田由美子） 10 月 15 日（小田由美子） 1) ～3) 42 ページ参照 1) 11 月 3 日 被表彰者 1 名 2) 5 月 9 日 被表彰者：26 名、（保健師 1 名、看護師 24 名、准看護師 1 名） 3) 6 月 6 日 被表彰者：2 名 4) 6 月 15 日 被表彰者：9 名 場所：かしはら万葉ホール 5) 11 月 27 日 被表彰者：1 名 5. 29 ページ参照 6. 31 ページ参照 7. 29 名参加
---	---

III. 看護に係る調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善への提言に関する事業（公益目的事業）

事業内容	
1. 保健師職能委員会 2. 助産師職能委員会 3. 看護師職能Ⅰ委員会 4. 看護師職能Ⅱ委員会 5. 地区支部委員会 6. 図書室の管理 1) 図書文献サービス (1) 図書室資料の充実 (2) 収集資料の受け入れ整備と所蔵資料目録の運営管理 (3) 看護文献検索・情報提供サービスの向上 2) 図書室の利用促進	1. 25 ページ参照 2. 25 ページ参照 3. 26 ページ参照 4. 26 ページ参照 5. 26 ページ参照 (1) 蔵書数：専門図書 5551 冊 一般図書 171 冊 雑誌 28 種類 視聴覚資料 232 本 (3) インターネットによる検索案内： 検索リンク先 10 施設 2) 来室利用者：会員 12 名、非会員 0 名 他、長期間研修受講者（実習指導者講習会、ファーストレベル・セカンドレベル） 貸出：図書 27 冊、 視聴覚資料 0 本 文献複写：利用枚数 154 枚

IV. 地域ケアサービスの実施及び促進等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業（公益目的事業）

事業内容	
1. 地域住民への看護サービス 1) 出張研修 2. 看護の日イベント 1) 一日まちの保健室 (1) 奈良地区支部 (2) 東和地区支部 (3) 南和地区支部 3. 訪問看護事業 1) 訪問看護事業に関すること (1) 安心・安全な訪問看護サービスの提供 ① 質の高い訪問看護サービスの継続提供 ② 研修会・講習会の参加 ③ 教育機関としての環境整備 ㊦ 看護学生・病院看護師・地域連携に関わる職種の 実習受け入れと教育指導 ④ 橿原市内訪問看護ステーションの教育ステーションとしての活動 ④ ステーションだよりの発行 (2) 健全な事業運営 ① 訪問看護ステーション運営・管理	28～29 ページ参照 地区支部活動報告参照 (1) 26～27 ページ参照 (2) 27 ページ参照 (3) 28～29 ページ参照 ① 利用者・家族の満足度調査実施（11 月） 44 ページ参照 ② 研修・講習会：256 回 受講数：406 名 講師派遣依頼 12 回 講師実績数：5 名 県喀痰吸引等研修講師派遣：3 回 2 名 ③ 実習受入れ： ㊦ 看護学校（5 校）実習生（延べ人数 439 名） ・在宅看護特別プログラム（1 名/延べ 8 日） ・病院看護師（54 名/延べ 112 日） ④ 連携会議（4 回） ④ 年 3 回（4 月、8 月、12 月） (2) 24 時間緊急時対応体制の整備 ① 定例会議 ・所長会議 12 回

②やりがいのある職場づくりの醸成 (3) 近畿地区看護協会立訪問看護ステーション統括者及び管理者交流会参加 2) 居宅介護支援事業に関すること (1) 質の高いケアマネジメントの提供 ①ケアプランの作成、評価・給付管理 ②サービス担当者会議への出席 ③研修会・講習会の参加 (2) 行政及び他事業所との連携 (3) 橿原市在宅医療・介護連携相談支援事業 3) 訪問看護総合支援センター事業に関すること (1) インターンシップ事業 県内看護大学・看護専門学校の学生に訪問看護ステーションで実地体験してもらう (2) プリセプター配置・現場指導事業 ①新人訪問看護師が職場になじめるように支援する ②医療処置やケアを学ぼうとする職員に現場指導の実施 ③プリセプター研修（プリセプターの養成） (3) 訪問看護制度研修 ①技術研修（ビギナー：ミドル・カスタム） ②セミナー（小児看護・嚥下障害看護） (4) 多職種連携会議 災害時における医療・介護・福祉の多職種連携を考える (5) 訪問看護管理者研修 人材育成・奈良県の施策・労務管理 (6) 地域教育事業 保健医療圏域ごとに教育ステーションを設け、地域の訪問看護ステーションを支援する (7) 教育計画・プログラム策定事業 訪問看護師用ラダーを作成 (8) 認定看護師派遣調整事業 病院や訪問看護ステーションに勤務する認定看護師を派遣し、技術習得を支援 (9) 訪問看護経営相談事業 ①新規開設する訪問看護ステーションの支援 ②既存の訪問看護ステーションの経営運営への相談 (10) 訪問看護実態調査事業 県内訪問看護ステーションへ実態調査を実施 4. 訪問看護推進研修事業 1) 訪問看護師養成講習会（奈良県受託事業） 2) 訪問看護における暴力・ハラスメント研修	・医療安全対策、記録、業務委員会（各委員会 10 回開催） 合同研修会：感染管理 1/11 参加者（54 名） ：委員会報告 3/1 参加者（50 名） ②職場環境、福利厚生の見直し 22 ページ参照 (1) ケアプラン数（1591 人） ・必要時 ・研修・講習会：16 回 受講数：28 名 (2) 橿原市ケアマネジャー連絡会へ参加（4 回） (3) 週 2 回（各半日）参加 ・自立支援地域ケア会議参加（4 回） (1) ～ (10) 43 ページ参照 ・教育計画、研修内容の検討 申請事業所数（8）派遣申請件数（14 件） 講師派遣数（13 件） 受講者計 174 人 (10) 委員会開催（2 回） 再掲 2) 8/3 基礎研修 9/1～12/14 の 5 回 DVD 動画配信研修
---	--

5. 災害時の看護支援体制 1) 災害支援ナース派遣調整合同訓練（日本看護協会） 2) 看護協会災害支援ナース指導者養成研修 3) 新型コロナなど新興感染症等に係る看護職員等確保事業 災害支援ナース養成研修 4) 奈良県事業に協力 (1) 国民保護法に基づく支援 (2) 新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく協力・支援 (3) 鳥インフルエンザ発生時における協定に基づく支援 (4) 災害対策基本法に基づく支援 (5) 奈良県防災総合訓練に参加、協力	68 名修了 1) 新たな派遣調整の仕組みに則って、一部の地域に限定して実施（奈良県該当なし） 2) 災害支援ナース養成研修の集合研修の企画・指導者資格取得 オンデマンド研修 ①共通編 7/1～10/21 ②演習災害編 10/29 ③演習感染症編 10/24 3) オンデマンド研修 11/5 災害編演習 11/27 感染症編演習 (5) 10月20日都祁生涯スポーツセンター 災害支援ナース 33 名 被災地と避難所の訓練に参加
--	--

V. 日本看護協会との相互協力及び連携に関する事業（公益目的事業）

事業内容	
1. 日本看護協会事業に協力 1) 日本看護協会への入会手続き 2) 各種会議への出席 3) 地域に必要な看護職確保推進事業 4) 日本看護協会と協働して実施する研修 2. 災害支援ナース派遣調整合同訓練 3. 日本看護協会会長賞 4. 日本看護協会との連携と情報交換	2) 22 ページ参照 再掲 6 研修 2. 奈良該当なし 再掲 22 ページ参照

VI. 施設の貸与に関する事業（公益目的事業／法人管理に関する事業）

事業内容	
1. 施設運営に関する事業 1) 看護研修センターの運営 2) ホームナーシングセンターの運営 3) 駐車場の管理と運営	75 ページ参照 45 ページ参照 ・料金の管理 ・駐車券販売の管理 ・駐車場維持管理（草刈り：年3回） ・ゲートシステム維持管理

VII. その他本会の目的を達成するために必要な事業（公益目的事業／共益事業／法人管理に関する事業）

事業内容	
1. 広報活動に関する事項	
1) 機関紙その他啓発出版物の刊行	
(1) ホームページの活用	
(2) 「看護なら」の作成配布（広報出版委員会）	(2) 年2回（7月・12月）・総会特集号（5月）
2) 奈良新聞への寄稿：看護の日に寄せて	2) 5月11日 飯尾美和
3) 県医師会広報誌 医師会新報への寄稿	3) 年4回（6月・9月・12月・3月）
4) 産経新聞掲載	4) 5月10日
2. 渉外活動に関する事項	
1) 関係団体との連携強化	
(1) 看護学校等	・奈良県内看護学校、大学看護学部の卒業式、入学式及び宣誓式（戴帽式）に出席 ・卒業生及び入学生へ祝電及びお祝いのメッセージを送付 ・看護学校等行事への参加
2) 看護関連政策の実現	
(1) 奈良県への要望	9月2日
①ナースセンター事業拡充及び拡大における人材雇用への支援	出席：春木邦恵、橋口智子、高橋久子、西岡令子、森田冴子、高島範子
②看護補助者の資質向上のための施設での研修支援への支援	
3) 県主催事業への出席・協力	
(1) 奈良県事業に協力	
(2) 県主催事業の審議・会議等に委員として参加	(2) 23 ページ参照
(3) 関係団体の総会等への出席	
(4) 関係団体への協力支援	
3. 会員支援に関する事業	
1) 表彰（再掲）	
2) 見舞い・その他	
(1) 弔慰見舞い	2名
3) 身分擁護と福利厚生	
(1) 医療事故に関する情報提供と相談	
(2) 個人情報の適正管理	
4. 組織に関する事項	
1) 協会組織の強化	
(1) 会員数の増加の拡大	
①会員サービスの充実	
・新会員情報管理体制（ナースシップ）による入会・継続手続き	
・オンライン研修システムマナブル運用	
・ホームページによる会員との連携	
・SNS開設（新）	
・医療安全相談窓口の継続	
・個人情報保護法等関係法令の適正管理	
㊦適正な取り扱いを遵守	
㊦パソコンセキュリティ管理	
・入会案内・リーフレットの配布	

②地区支部活動の充実 ③地区医師会との連携（橿原地区四師会）開催 (2) 規約委員会 ①公益法人制度改革に対応した諸規程の見直し (3) 事務局 ①業務分掌の見直しと整備 ②職員研修の参加 ・障害雇用機会拡大会議 ・新しい公益制度説明会（内閣府主催） 2) 円滑な組織運営のための諸会議の開催 (1) 諸会議の開催 ①通常総会 ②職能集会 ③地区支部 ④理事会 ⑤業務執行理事会 ⑥職能委員会 ⑦常任委員会 ⑧特別委員会 ⑨新旧役員・委員の引継会議 3) 推薦委員会 4) 選挙管理委員会 5. 奈良県看護研修センターの管理運営 1) 施設管理に関すること (1) 施設整備・保守管理業者委託 ①館内清掃 ②警備、消防、給水設備点検 ③エレベータ点検 ④空調保守 ⑤自動ドア点検 ⑥電気設備点検 ⑦植木剪定、消毒 (2) 機器等リース保守管理 ①コピー機（3 台） ②パソコン ③ホームページレンタルサーバ ④電話機 ⑤防犯 ⑥ダスキンマット (3) 音響・映像設備の保守・点検 (4) 借上駐車場の管理（草刈り）	26～29 ページ参照 7 月 20 日（協会担当）会長、理事参加 31 ページ参照 12 月 10 日 出席：丸谷昭典 1 月 31 日 出席：丸谷昭典、古幡美和 6 月 15 日 場所：かしはら万葉ホールロマンチックホール 参加人数：本人出席 232 名 委任状出席 7,418 名 合計 7,650 名 25～26 ページ参照 26～29 ページ参照 - 年 12 回開催 - 年 11 回開催 - 定例会 - 定例会 - 定例会 6 月 15 日 29 ページ参照 29 ページ参照 - 日常清掃：週 5 回、定期清掃：年 3 回 - 警備：毎日 - 消防設備点検：年 2 回 - 給水設備点検：年 2 回 - 月 1 回 - 年 4 回 - 年 4 回 - 年 6 回 - 各年 1 回 (4) 年 3 回
---	---

2) 会計管理に関すること	
(1) 消費税・所得税積算等についての税務委託	(税理士に依頼)
6. ホームナーシングセンターの管理運営	
1) 施設管理に関すること	
(1) 施設整備・保守管理業者委託	
①館内清掃	①日常清掃：週1回、定期清掃：年2回
②警備、消防、給水設備点検	②警備：毎日
③エレベータ点検	③月1回
④空調保守	④年2回
⑤自動ドア点検	⑤年4回
⑥電気設備点検	⑥年6回
(2) 機器等リース保守管理	
①コピー機 (1 台)	
②パソコン	
③電話機	
④防犯	
⑤ダスキンマット	
(3) 音響・映像設備の保守・点検	
(4) 借上駐車場の管理	
7. その他	
1) 公益財団法人日本対がん協会寄附	1) 10 月 11 日
2) 公益社団法人なら犯罪被害者支援センター寄附 (賛助会員)	2) 8 月 21 日
3) 第 19 回日本医療マネジメント学会奈良支部学術集会寄附	3) 9 月 20 日

2024年度 日本看護協会主催会議等参加報告

会議名	日程	回数	参加者
1. 日本看護協会理事会	6/6・9/20・ 11/28・2/27	4回	春木
	5/10・6/6	2回	飯尾
2. 日本看護協会法人会員会	6/7・11/29・ 2/28	3回	春木
3. 日本看護協会通常総会	6/6	1回	飯尾・春木 代議員
4. 代議員研修会	5/7	1回	代議員 予備代議員
5. 全国職能集別交流集会	6/7	1回	職能理事・代議員 他2名
6. 全国職能委員長会	8/2・3/7	2回	各職能委員長
7. 地区別法人会員会(近畿地区)	10/21・10/22	2回	春木・西岡
8. 地区別職能委員長会	10/22	1回	各職能委員長
9. 都道府県看護協会政策責任者会議	9/19	1回	春木・西岡
10. 都道府県看護協会看護労働担当者会議 (Web)	7/18	1回	西岡・小田
11. 新会員情報管理情報交換会担当者会議	7/4	1回	古幡・西川
12. 都道府県看護協会・都道府県訪問看護連絡協議会 合同会議 (Web)	11/14	1回	高島・伊藤
13. ナースセンター事業担当者会議 (Web)	5/21	1回	西岡・小田
14. 都道府県看護協会図書室担当者研修会 (Web)	9/12	1回	西岡・山口
15. 都道府県看護協会広報担当役員会議 (Web)	11/7	1回	西岡・山口
16. 都道府県看護協会健康危機管理会議 (Web)	12/19	1回	春木
17. 全国基礎教育担当役員会議 (Web)	2/4	1回	森田
18. 日本看護協会医療事故調査制度に関わる専門家族連絡 会議 (Web)	9/18	1回	高島
19. 都道府県看護協会教育担当者会議	8/8	1回	森田・森本智
20. 公益法人運営に関する勉強会	9/27	1回	丸谷・古幡
21. 訪問看護連絡協議会全国会議	11/14	1回	春木・高島・伊藤
22. 認定看護管理者教育機関担当者会議(Web)	10/29	1回	森田

近畿地区看護協会連携会議

1. 近畿府県看護協会事務担当者会議	11/27	1回	丸谷
2. 近畿地区看護協会災害看護担当者会議 (Web)	12/19	1回	高島
3. 近畿地区看護協会教育担当者会議(Web)	12/26	1回	森田
4. 近畿地区看護協会人材確保定着担当者会議 (Web)	2/7	1回	西岡・小田
5. 近畿地区看護協会立訪問看護ステーション統括者及び 管理者交流会 (Web)	1/9	1回	春木・高島 伊藤・池之畑 田丸・中川

2024年度 県関連団体会議等参加報告

会議名	日程	回数	参加者
1. 奈良県防災会議	10/20	1回	春木
2. 奈良県医療審議会	12/17・3/17	2回	春木
3. 奈良県医療推進協議会役員会	11/21	1回	春木
4. 奈良県防災会議幹事会	6/4・8/8・9/17	3回	春木・高島
5. 奈良県防災総合訓練会議	6/4・6/28・ 8/8・9/2・ 10/20	5回	高島 災害看護委員
6. 奈良県地域医療対策協議会	8/23・1/30・ 3/13	3回	西岡
7. 奈良市保健医療圏地域医療構想調整会議	12/16	1回	高島
8. 東和保健医療圏地域医療構想調整会議	3/6	1回	西岡
9. 西和保健医療圏地域医療構想調整会議 (Web)	9/20・10/9・3/6	3回	高島
10. 中和保健医療圏地域医療構想調整会議 (Web)	3/4	1回	森田
11. 南和保健医療圏地域医療構想調整会議	3/5・7/19	2回	西岡・辻井
12. 「面倒見のいい病院」指標検討会	11/15・12/26	2回	津森
13. 奈良県肝炎対策推進協議会 (Web)	12/19	1回	西岡
14. 奈良県感染症委員会	9/5・12/13・2/4	3回	高島
15. 奈良県感染症対策連絡協議会	9/5	1回	伊藤
16. 奈良県小児慢性特定疾病対策協議会	1/31	1回	森田
17. 奈良県要保護児童対策地域協議会	12/17	1回	高島
18. 奈良県病院看護管理者協議会	7/5・1/28	2回	春木・西岡 森田・高島
19. 奈良県介護実習・普及センター運営委員会	3/28	1回	森田
20. 奈良県在宅医療推進会議 (ZOOM)	2/12	1回	高島
21. 奈良県医療勤務環境改善支援センター運営協議会	11/8・9/5	1回	西岡
22. 奈良県母性衛生学会理事会(副会長)	3/13	1回	春木
23. 奈良県母性衛生学会理事会(監事)	7/28・3/13	2回	森田
24. 奈良県母子保健運営協議会	12/25	1回	森田
25. 奈良県運営適正化委員会	4/16・11/25・ 12/17・2/18	4回	高島
26. 奈良県介護保険審査会 委員総会	4/26・6/19	2回	高島
27. 奈良県循環器対策推進会議 (Web)	2/25	1回	森田
28. 奈良県医療安全推進センター理事会	11/21	1回	春木
29. 奈良県医療安全推進会議	4/10	1回	春木
30. 在宅看護特別教育プログラム推進会議	5/7	1回	飯尾
31. 在宅看護特別教育プログラム推進会議	5/7・12/17	2回	春木・伊藤 津森
32. 看護職がいきいきと働き続けるための実効策検討委員会	11/20	1回	春木
33. 奈良マラソン実行委員会	11/15・12/8	2回	高島
34. 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会 奈良県準備委員会	8/7	1回	春木
35. 都道府県ナースセンター地区別意見交換会 (Web)	7/17・9/11・11/28	3回	西岡・小田・秦
36. ナースセンター事業運営会議	2/21	1回	小田・西岡
37. ナースセンター・ハローワーク連携事業連絡調整会議	6/12	1回	小田
38. 近畿地域の医療機関における電波利用推進協議会 (Web)	2/4	1回	森田
39. 障害者雇用機会拡大会議	12/10	1回	丸谷

2024年度 市町村事業等・関係団体機関等参加報告

会議名	日程	回数	参加者
日本看護連盟通常総会	6/13	1回	春木
奈良県看護連盟通常総会	6/22	1回	春木・高島
1. 看護連盟近畿ブロック政策セミナー	9/7	1回	春木・西岡
2. 看護協会・連盟合同会議（地区別法人委員会）	10/22	1回	春木・西岡
3. 奈良市地域密着型サービス運営委員会	7/17・8/6・ 11/8・12/12	4回	高島
4. 奈良市高齢者福祉推進協議会	11/25	1回	高島
5. 奈良市地域包括支援センター運営協議会	3/6	1回	高島
6. 橿原市・橿原自治委員会連合同防災訓練会議	7/17・8/30・ 10/3・11/24	4回	春木・高島
7. 橿原市介護保険運営協議会	2/28	1回	高島
8. 桜井市介護保険運営協議会	7/11・11/22	2回	森田
9. 桜井市地域包括支援センター運営協議会	11/22	1回	森田
10. 大和高田市介護保険運営協議会	1/30	1回	西岡
11. 飛鳥ハーフマラソン実行委員会	5/27・2/13	2回	春木・高島
12. 奈良県健康づくり財団理事会	3/25	1回	春木・丸谷
13. 奈良県健康づくり財団評議員会	3/25	1回	春木・丸谷
14. 奈良県済生会支部理事会	5/28	1回	飯尾
15. 奈良県済生会支部理事会	6/25・10/1・ 11/26・3/5	4回	春木
16. 国保中央病院組合経営強化プラン点検・評価委員会	7/31	1回	春木
17. 奈良市立看護専門学校関係者評価委員会	3/27	1回	春木
18. 奈良県福祉人材センター運営委員会	7/23	1回	春木
19. ナースセンター事業運営協議会	2/21	1回	小田・西岡
20. 看護関係団体連携会議	7/17・1/24	2回	春木・西岡
21. 日本医療マネジメント学会奈良支部幹事会・運営委員会 （運営委員）	6/25・2/1	2回	高島
22. 新しい公益法人制度説明会（内閣府）	1/13	1回	丸谷・古幡
23. 日本医療マネジメント学会奈良支部幹事会・学術集会	2/1	1回	春木・西岡・高島
24. 奈良県看護関係団体連携会議	7/17・1/24	2回	春木・西岡
25. 奈良県橿原地区医師会互例会	1/19	2回	春木・西岡

2024 年度 職能委員会活動報告

◇ 保健師職能委員会 ◇

委員長 大井 久美子

本委員会は6名の委員で構成され、県内保健師間の連携強化とネットワーク推進を目的に、以下の活動に取り組んだ。

【活動内容】

1. 定例会（8回）
 - 1) 新たな「看護の将来ビジョン」骨子案等の意見集約
 - 2) 保健師職能交流会の企画、準備
 - 3) 広報誌「かのこ」の原稿作成、発行準備
 - 4) 看護の日（5月11日）の保健師のお仕事紹介のパネル作成
2. 保健師職能交流会の開催
日 時：2024年10月5日（土）13:30～16:30
参加者：14名（奈良県内に勤務する保健師）
今年度は、コロナ禍で中断していた保健師職能交流会を3年ぶりに開催。
「楽しく仕事をするモチベーションアップ術～自分も周りも勇気づけていくために～」をテーマに産業分野で活躍されている徳永京子氏（合同会社チームヒューマン代表）を講師としてお招きし、演習やグループワークを交えながら、自分の強みや弱みを知ることでの対応術を学んだ。当日は、若手からベテランまで14名の保健師が参加し、職場や世代を超えて楽しく交流することができた。
3. 広報誌「かのこ」（2025年3月）の発行
4. その他
 - ・2024年 6月 7日（金）全国保健師職能交流集会（東京国際フォーラム）
 - ・2024年 8月 2日（金）第1回全国保健師職能委員長会（TKP 新橋カンファレンスセンター）
 - ・2024年 10月 22日（火）地区別保健師職能委員長会（ANA クラウンプラザホテル神戸）
 - ・2025年 3月 7日（金）第2回全国保健師職能委員長会（TKP 新橋カンファレンスセンター）

◇ 助産師職能委員会 ◇

委員長 細川 喜美恵

本委員会は8名で構成され、本年度の活動目標は以下の通りである。

1. 「母子のための地域包括ケア病棟」の普及・推進
2. 女性とその家族の健康への支援
3. 奈良県内の産科施設の連携強化（情報共有及び情報の発信）

【活動内容】

1. 定例会（10回）
 - 1) 助産師実践能力の維持・向上に向けた研修会の企画
 - 2) 「母子のための地域包括ケア病棟」の普及のための取り組み
 - 3) 産科施設の情報共有及び情報の発信
 - 4) 命の大切さを伝える教育計画
2. 研修会
CLoCMiP レベルⅢ認証申請のための必須研修
日 時：2024年9月14日（土）9:00～12:10
テーマ：①緊急時の対応②臨床薬理（妊娠と薬）
講 師：地方独立行政法人 奈良県立病院機構 奈良県総合医療センター 産婦人科部長 佐道俊幸 氏
参加者：18名
3. 周産期看護職者職能集会
日 時：2024年11月9日（土）9:00～12:00
テーマ：女性に対する暴力予防の支援について
講 師：奈良学園大学 保健医療学部 看護学科 母性看護学・助産学 教授 服部律子 氏
 - 1) 講演（CLoCMiP レベルⅢ認証申請のための必須研修）
テーマ「女性に対する暴力予防の支援」
 - 2) 事例検討（CLoCMiP レベルⅢ認証申請のための選択研修）参加者：16名
4. 近畿地区助産師職能合同研修会（CLoCMiP レベルⅢ認証申請のための選択研修）
日 時：2024年12月21日（土）10:00～11:40（オンラインのみ）
テーマ：父親支援について学び、家族のメンタルヘルスを支えよう
講 演：「助産師に期待する妊娠期を通しての父親支援」
講 師：大阪総合保育大学 阿川勇太 氏
参加者：191名
5. 看護の出前授業
6校（平群町立平群北小学校・御所市立大正中学校・五條市立牧野小学校
五條市立五條南小学校・五條市立五條小学校・五條市立五條東中学校）
6. その他

・2024 年 8 月 2 日	第 1 回 全国助産師職能委員長会 (TKP 新橋カンファレンスセンター)
・2024 年 10 月 22 日	地区別助産師職能委員長会 (ANA クラウンプラザホテル神戸)
・2025 年 3 月 7 日	第 2 回 全国助産師職能委員長会 (TKP 新橋カンファレンスセンター)

◇ 看護師職能Ⅰ委員会 ◇		委員長 河野 恵
定例会	10 回	
研修会	2 回 (看護職能Ⅰ・Ⅱ合同交流会含む)	
本委員会では 9 名で構成され、今年度の活動目標は以下のとおりである。		
1. JNA 推奨の生涯学習ガイドラインの推進に向けた活動		
2. 交流会 (看護職の生涯学習ガイドラインの理解と定着) 企画		
3. 看護師職能Ⅱとの交流会を通じて地域包括ケアシステムに関する課題を共有し地域との連携を図る		
【活動内容】		
1. 定例委員会活動 (12 回)		
1) 研修会準備・実施・評価		
2) 次年度計画立案		
2. 全国、地区別看護師職能Ⅰ委員長会議への参加による情報収集と共有		
・2024 年 8 月 2 日 第 1 回全国看護師職能委員長会Ⅰ 病院領域 (TKP 新橋カンファレンスセンター)		
・2024 年 10 月 22 日 地区別看護師職能委員長会Ⅰ 病院領域 (ANA クラウンプラザホテル神戸)		
・2025 年 3 月 7 日 第 2 回全国職能委員長会Ⅰ 病院領域 (TKP 新橋カンファレンスセンター)		
3. JNA 看護職の生涯学習ガイドラインの理解と定着		
看護師職能Ⅰ交流会		
日 時 : 2024 年 9 月 28 日 (土) 13 : 00-16 : 00		
テーマ : 「看護職の生涯学習ガイドラインについて」		
第 1 部 生涯学習に必要な基礎知識 (日本看護協会オンデマンド研修)		
第 2 部 組織における生涯学習支援の実践 (日本看護協会オンデマンド研修)		
第 3 部 グループワーク		
参加者 : 43 名 アンケート回答者 17 名		
4. 看護師職能Ⅰ・Ⅱ委員会の交流会		
看護師職能Ⅱ委員会の報告参照		

◇ 看護師職能Ⅱ委員会 ◇		委員長 山崎 優美代
委員は 7 名 (訪問看護ステーション 3 名 介護老人保健施設 3 名 特別養護老人ホーム 1 名) で構成され活動をしており、今年度は職能Ⅰと合同で交流会を開催した		
【活動目的】		
・地域包括システムの推進を図り看護師他職種の連携ができる		
・関係団体と地域の施設が連携できるようネットワークの推進強化		
【活動内容】		
1. 定例会議		
1 回/月 計 7 回実施		
委員会役割分担 情報交換		
交流会企画・立案・実施		
次年度活動方針・内容等検討		
2. 看護師職能Ⅰ・Ⅱ委員会の交流会		
日 時 : 2024 年 12 月 21 日 (土) 13 : 00~16 : 30 テーマ『看取りの文化を考える』		
講 師 : NPO 法人老いと病いの文化研究所われもこう 竹熊千晶 氏		
参加者 : 24 名 (WEB3 名)		
3. その他		
・2024 年 9 月 14 日 西和地区支部交流会参加		
・2024 年 8 月 2 日 全国職能委員長会・全国看護師職能委員長会Ⅱ (TKP 新橋カンファレンスセンター)		
・2024 年 10 月 22 日 地区別看護職能委員長会Ⅱ (ANA クラウンプラザホテル神戸)		
・2025 年 3 月 7 日 全国職能委員長会・全国看護師職能委員長会Ⅱ (TKP 新橋カンファレンスセンター)		

2024 年度 地区支部活動報告

◇ 奈良地区支部 ◇		奈良地区支部長 新田 伊津美
1. 活動目的		
1) 奈良地区の地域住民の疾病予防・健康づくり・療養支援の強化		
2) 交流会を通して看護体制機能の強化に向けたネットワークの確立と看護の専門性を発揮するための人材育成		
2. 活動状況		

- 1) 地区支部委員会（基本第3木曜日に開催 全9回）
- 2) 奈良地区「1日まちの保健室」開催（地区支部役員5名＋応援者5名）
 日 時：2024年9月28日（土）10：00～14：30
 場 所：奈良県総合医療センター「あをによし祭り」参加
 内 容：1. 感染予防：グリッターバグ
 2. アロマオイルによるハンドマッサージ
 参加者は約150名であり特にアロマによるハンドマッサージは老若男女関係なく多くの参加者があり、急速マッサージの人員を3名から4名に増やし対応した。グリッターバグは初めての実施であったが、洗い残し等が可視化され参加者からは「しっかり洗ったけど洗えてない」等の発言も聞かれ好評であった。
 「一日まちの保健室」としての参加であり、次年度は看護・介護相談コーナーを検討する。
- 3) 地区支部交流会開催
 テーマ：奈良地区支部施設における課題について
 日 時：2025年2月20日（木）14：30～16：30
 場 所：独立行政法人国立病院機構 奈良医療センター 大会議室
 内 容：1. 奈良地区支部内の在宅療養について現状把握
 2. 在宅療養における各施設の課題を共有
 講 師：社会福祉士・介護支援専門員 江邊晃世 氏（奈良市在宅医療・介護連携支援センター 相談員）
 参加者：19名
 奈良市における入退院連携推進の取り組みと入退院連携の課題や入退院連携マニュアル等について江邊氏より講演してもらい、その後グループ討議をおこなった。グループ討議では、各施設の課題を共有しながら、課題解決の方向性を見出すことができた。入退院連携マニュアルについても知らない施設等もあり、今回の交流会を通して地域と施設の連携が深まり、地域で生活する患者が安心して生活・療養生活が送れる体制作りが前進したと考える。

◇ 東和地区支部 ◇

東和地区支部長 有川 万里子

1. 活動目的
 - 1) 地域住民が住み慣れた地域で再期までその人らしく生きることを支えるために、医療と介護の連携の強化
 - 2) 全世代の人々の健康に貢献していくために、様々なネットワークを活用し看護職の専門性を発揮
2. 活動状況
 - 1) 地区支部委員会（毎月第4火曜日 全11回）10：00～12：00
 - 2) 「まちの保健室」に奈良県看護協会共催として地区支部役員5名参加
 - ①天理大学医療学部
 日 時：2024年10月19日（土）9：30～13：00
 場 所：天理駅コフン広場南団体待合所
 内 容：天理大学医療学部が社会貢献活動として病気予防や人命救助、臨床検査、災害対策などを実施、看護協会は脳健康ステーションを実施
 - ②奈良県福祉フェア
 日 時：2024年11月2日（土）10：00～15：00
 場 所：県営福祉パーク
 内 容：看護協会は障害を抱えた方やその家族、地域住民の超音波踵骨骨測定を用いた骨密度測定と健康相談を実施
- 3) 看護職・介護職交流会
 テーマ：誤嚥を防ぐポジショニングと食事介助
 日 時：2025年1月25日（土）14：00～16：00
 講 師：南和広域医療企業団 南奈良総合医療センター 摂食・嚥下障害看護認定看護師 佐谷直美 氏
 内 容：高齢者の誤嚥性肺炎予防についての講演後、何種類かのトロミ粉を用いて味やトロミ程度を試飲し違いの体験
 ベッドや車いすを用いてポジショニングの演習
 参加者：20名（看護師10名 介護職10名）、演習中の質問や追加情報は参加者全員で共有できるよう配慮され今後の援助において参考になったという声が多く聞かれた。

◇ 西和地区支部 ◇

西和地区支部長 近藤 貴代美

1. 活動目的
 - 1) 医療機関と施設の機能を知り強み・弱みから現状把握と協力体制の充実を図る
 - 2) タスクシフト／シェアの取り組みの紹介を共有し業務改善に取り組む
2. 活動状況
 - 1) 地区支部委員会 毎月 第4火曜日開催 全10回（14：00～16：00）
 - 2) 西和地区における医療機関・施設等で従事している看護職・施設長との交流会の開催
 テーマ：①施設、病院の受け入れ機能の紹介と共有
 ②地域連携の強化（それぞれの立場で相手に希望すること等）
 ③タスクシフト／シェアの取り組みについての紹介

日 時：2024 年 9 月 14 日（土）10：00～12：00

参加者：看護職 21 名、訪問看護 2 名、施設 5 名の代表者・管理者 28 名が参加した。3 グループに分かれディスカッションを行った。グループワークに参加したことで、「身近な問題が共有でき、今後の連携強化のモチベーションとなる。」「このような場が増えれば、看-看連携がよりスムーズになると考える。」「医療機関・施設・訪問など、あらゆる方のお話で情報共有ができた。」「ライブな感じで、話し合えることは有難い。」「タスクシフト／シェアに活用できる。」「具体的にアクションは起こせないが困った時に話せる人が出来た。」等の意見がきかれた。

回答者 20 名中、研修目的の達成率 95%、今後の活動に 90%の方が活用できる。と評価している。交流会全体の感想に、「今後の課題や方向性が明確になった。」「自分自身の振り返りができた。」「モチベーションが上がった。」「他人の意見を聞けることができた。」「今後も続けてほしい。」という意見を多く頂いた。今回の交流会を終え、目的は達成できたと考える。今後も施設・病院の情報交換を行う場の提供が地区支部活動の役割であることを再確認した。

◇ 中和地区支部 ◇

中和地区支部長 野村 佳香

1. 活動目的

- 1) 地区支部における看護職の交流と相互理解の機会を設け、施設間の連携を強化する
- 2) 看護の「場」を地域に向け、全世代の健康を支える看護職の機能と役割を発揮し、質の高い看護を提供する。

2. 活動状況

- 1) 地区支部委員会 毎月第 4 金曜日開催 全 12 回(13:30～17:00)

- 2) 中和地区支部看護職連携会議 (2 回/年)

- (1) テーマ：災害発生時の中和地区支部各施設の役割～災害支援の取り組み経験から新たな提案を見出す～

内 容：災害発生時や災害に備えた「施設、事業所間連携」「地域との繋がり促進」に関する実践報告や準備体制の報告（講演）し、その後意見交換や情報共有をシンポジウム形成で行った。

日 時：2024 年 9 月 20 日（金）14：00～16：00

対象者：看護職・介護職等

講 師：秋津鴻池病院 リハビリテーション部 部長 西田宗幹 氏／吉野保健所 健康増進課 課長 大井久美子 氏／奈良県立医科大学附属病院 看護師（DMAT） 勝村律子 氏

参加者：11 施設 15 名

- (2) テーマ：継続看護・地域連携に関する取り組みと課題

～こんなのがあったらシームレスな連携ができるを生み出そう～

内 容：中和地区の地域連携／継続看護の動向を変化、またそれに伴うネットワークの実際と在宅療養者を支える社会資源とその活用の取り組みの実際を学び、その意見交換や情報共有を演者と参加者のシンポジウム形式で行った

日 時：2025 年 2 月 28 日（金）14：00～16：00

対象者：看護職・介護職等

講 師：訪問看護総合支援センター 伊藤絹枝 氏／介護センターとらいあんぐる管理者 大倉昌浩 氏／香芝生喜病院 家族支援専門看護師 矢野春香 氏

参加者：5 施設 14 名

- 3) 地区支部交流会 (1 回/年)

テーマ：町の保健室開催／中和地区支部内の健康に関するイベントへの協賛

内 容：白衣体験・健康相談

日 時：2024 年 12 月 1 日（日）11：00～15：00

場 所：フローレンス・アニーナーシングホーム（訪問看護ステーション）

参加者：14 人

◇ 南和地区支部 ◇

南和地区支部長 辻井 里美

1. 活動目的

- 1) 高齢化が進む南和地区において医療介護の連携を図り、切れ目のない医療と介護が提供できる関係づくりを推進していく

- 2) 南奈良総合医療センター主催/健康フェスティバルに参加し、地域住民の看護への関心を高める

2. 活動状況 地区支部委員会 計 9 回 開催

1) 出張研修

【五條市】・2024 年 8 月 6 日（火）13:30～15:00 テーマ：感染予防

講 師：南奈良総合医療センター 感染管理認定看護師 畠山国頼 氏

場 所：障害者支援施設 仁優園

参加者：20 名（看護師、生活支援員、事務職）

・2024 年 11 月 12 日（火）17:30～19:00 テーマ：認知症ケア ～困難事例相談～

講 師：南奈良総合医療センター 認知症看護認定看護師 西政治 氏

場 所：五條市立養護老人ホーム 花咲寮

参加者：13 名（看護師、ケアマネジャー、介護福祉士、介護士、行政職員）

【下市町】・2024年8月20日（火）13:30～14:30　テーマ：認知症ケア　～困難事例相談～ 講　師：南奈良総合医療センター　認知症看護認定看護師　西政治　氏 場　所：下市町社会福祉協議会　参加者：8名（介護ヘルパー）	
【大淀町】・2024年8月28日（水）14:00～15:30　テーマ：スキンケアと褥瘡 講　師：南奈良総合医療センター　皮膚・排泄ケア認定看護師　馬場精江　氏 場　所：社会福祉法人総合施設美吉野園　吉野学園　参加者：8名（看護師、生活支援員）	
2) 南和地区支部交流会　2025年2月8日（土）13:30～16:30 テーマ：「多職種連携における地域での取り組み：実践報告 ～切れ目のない医療・看護・介護が提供できる関係づくり～」 講　師：西脇直美　氏（薬剤師）　梅本久美子　氏（川上村役場　コミュニティナース） 沖本暁　氏（言語聴覚士）　楠本真生　氏（訪問看護看護師） 参加者：32名（看護師、保健師、薬剤師、ケアマネジャー、介護福祉士、行政職員） 実践報告では在宅における服薬カレンダーによる薬剤管理やツールを使用しての情報共有の定着など、再入院を予防する心不全やパーキンソン病、認知症などの服薬コンプライアンスの遵守の必要性を示唆された。川上村では移動スパーと抱き合わせで歯科衛生士の口腔チェックが行われ、各地区への歯科医師巡回診療にもつなげている。また、学校における歯科の大切さなどの教育への参加もされていた。言語聴覚士の活動では、在宅での嚥下訓練や誤嚥予防のためのポジショニングを写真で残し訪問介護スタッフが共有できるツールの使用がされていた。天川村では訪問看護立ち上げで在宅看取りが可能となった。訪問入浴サービスが開始された事例もあり在宅介護が可能となってきている。グループワークでは自施設での問題や今後の課題が活発に話し合われ有意義な研修会となった。このような顔の見える「場」を継続して行ってほしいという多くの声があった。日々、それぞれの職種が現場で努力されており、実践報告することで他施設の活動や多職種の顔を知り、南和地域の横つながりの輪がどんどん広がっていくよう今後もこのような活動を継続していきたい。	
3. 南奈良総合医療センター　健康フェスティバルへの参加 フェスティバル来場延べ1300名で、「ちびっこ白衣体験」ブースを実施、153名の来場があった。隣接ブースで南奈良看護専門学校の学生が看護体験（赤ちゃん抱っこや心音聴取など）を実施しており、誘導にて体験に繋がった。「かんばんちゃん」との写真撮影もあり好評であった。昨年度、フェスティバルに参加、今年度看護専門学校に入学したという方が来場されており、パンフレット「やっぱり看護のシゴト」の配布効果であったと思われる。	

2024年度 委員会活動報告

◇ 推薦委員会 ◇		委員長 杉下　薫
本委員会は、定款及び定款細則、内規に基づき、奈良県看護協会の運営及び事業活動を理解し、その任務を担い得る適正な人を推薦することを目的とした委員会で、5名の委員で構成し、9回の委員会を開催し、議論を進めた。 活動内容は、2025年度改選役員候補者（専務理事・常任理事を除く）及び常任委員会・特別委員会の委員候補者、2026年度の日本看護協会通常総会の代議員・予備代議員候補者の公募・推薦である。以下、主な活動を示す。 【活動内容】 1. 2025年度に改選を要する役員・委員・代議員（任期満了者）の抽出と名簿作成 2. 任期満了者への次年度継続意思確認文書の作成と発送 3. 各施設等への推薦依頼及び推薦依頼書及び承諾書の作成と発送 4. 2025年度役員・委員候補者及び2026年度代議員・予備代議員候補者の名簿作成		
◇ 選挙管理委員会 ◇		委員長 本多　理恵
1. 活動目的 公益社団法人奈良県看護協会の役員及び推薦委員ならびに公益社団法人日本看護協会の代議員及び予備代議員の選任を公平かつ適正に選出する。 2. 活動内容 1) 奈良県看護協会通常総会（2024年6月21日） 第1号議案・第2号議案承認の確認 2) 2025年度　奈良県看護協会　役員及び推薦委員の公示・立候補者の受付 2026年度　日本看護協会　代議員及び予備代議員の公示・立候補者の受付		
◇ 看護労働環境改善推進委員会 ◇		委員長 井上　ゆかり
本委員会では、看護職の業務負担軽減を図り、県内で安心して働き続けられる職場環境を構築するための活動を行っている。委員は7名で構成され定例委員会は計12回と研修会1回、事例報告会を1回開催した。 【活動内容】 1) 「看護職の賃金モデル」に関する研修会 日　時：2024年5月29日（水）13:30～16:30 日本看護協会の冊子「看護職のキャリアと連動した賃金モデル」について奥村元子氏の講演、また社会労務士の増田尚大氏より「1億人アンダー社会での人事評価の視点」の講演2題と、北摂総合病院看護部長の田尻愛子氏からは		

「看護職員の処遇改善―魅力ある人事制度の改定―」の事例紹介をしていただいた。

2) 事例報告会（業務改善事例報告会）

日 時：2025 年 2 月 15 日（土）13：30～16：30

「看護師の業務負担軽減に資する看護業務改善」として、2022 年度より 3 か年にわたり病院 Ver.・学校・行政・訪問看護ステーション Ver. と職場別に業務改善事例集を作成し報告会を開催してきた。今回で最終回となる高齢者施設等 Ver. の業務改善事例集には、14 施設による業務改善の紹介冊子作成と「就業継続が可能な看護職の働き方の提案」として介護老人保健施設、特別養護老人ホーム、社会福祉法人から 9 施設による事例報告会を開催した。

◇ 教育企画・運営委員会 ◇

委員長 寺田 和代

教育企画・運営委員会 8 回

研修会運営 19 回

本委員会は、10 名の委員で構成され、活動目的に従って奈良県看護協会継続教育の方向性を提示し、先駆的な知識・技術を提供できるための支援プログラムの作成と評価、および、研修の運営を行った。

【活動内容】

1. 2024 年度の教育計画の評価
受講状況、受講者のアンケート結果より
2. 研修会運営
3. 2025 年度の教育計画の検討
(1) 日本看護協会 継続教育部の活動内容についての情報共有
(2) 研修の評価方法（企画としての）項目の検討
(3) 2025 年度研修会計画 6 研修を企画した。

◇ 奈良県看護学会委員会 ◇

委員長 林田和美江

学会委員会定例会 7 回

本委員会は 8 名の委員で構成され、活動は、臨床・教育・地域のすべてのナースが同じ志をもつものとして集まる機会である奈良県看護学会の企画・運営を行い、活動目標とする看護研究および看護実践の成果を発表・共有し相互の研鑽を図ることである。

今年は会場とオンラインのハイブリッド方式で開催、また看護学生の参加費無料化により 41 名の看護学生の参加となった。

【活動内容・検討事項】

1. 定例会（2024 年）
第 1 回 6 月 18 日（火）PM（委員長等決定・選考委員決定、2023 年度活動報告、今年度予定）
第 2 回 7 月 23 日（火）1 日（査読・選考）応募 14 題 査読 不採択なし（演題取り下げが 2 題、追加 2 題）
第 3 回 8 月 20 日（火）1 日（再査読、口演 14 題選考しプログラム検討、次年度テーマ検討）
第 4 回 10 月 15 日（火）PM（学会運営マニュアルの確認・修正、抄録集及び講師の確認）
第 5 回 11 月 12 日（火）PM 事前準備（運営マニュアル確認、会場設営、Web 配信調整）
第 6 回 12 月 14 日（土）奈良県看護学会（運営）
第 7 回 2025 年 1 月 14 日（火）PM（2024 年度奈良県看護学会の振り返り、次年度の学会計画）
2. 奈良県看護学会開催
テーマ：看護の継承と進化
開催日：2024 年 12 月 14 日 土曜日 9：00 開場 15：40 閉会
会 場：奈良県看護研修センター
演題数：口演発表 14 題 10：10～11：55・14：40～15：30
特別講演：13：00～14：30
『看護の明日はどこへ ～受け継いでよいこと・いけないこと～』
講 師：目黒悟 氏（元 藤沢市教育文化センター 主任研究員）
学会形式：ハイブリッド方式
参加状況：131 名（会場 58 名、看護学生 41 名、オンライン 32 名）
事前登録者：93 名（会場 62 名、オンライン 31 名）
関係者：24 名（学会委員 7、会長 1、理事 3、学会事務局 2、運営協力員 7、広報 2、機器 2）
参加総数：131 名

◇ 広報出版委員会 ◇

委員長 古賀 めぐみ

本委員会は 6 名の委員で構成され、奈良県看護協会広報誌「看護なら」の企画と編集、発刊を行った。

会員に本会へ興味を持ってもらう紙面づくりを目指し、委員会活動や研修、奈良県内の医療・看護・介護に関する情報の提供を行った。また、協会周辺の観光名所を「今月のちょっとひと息」をテーマに、103 号は長谷寺、104 号は今井町を取材し掲載した。

定例会は、年 8 回、取材活動は 2 回、看護なら 103 号（2024.7 月）、看護なら 104 号（2024.12 月）を発刊した。

◇ 医療安全検討委員会 ◇	委員長 西浦 聡子
本委員会は、医療安全管理者の資格を持ち、医療安全に携わる委員 6 名から構成され、定例委員会は 7 回、スキルアップセミナー 1 回開催、医療安全管理者養成研修の受託事業の演習を 1 回担当した。 【活動内容】 - 医療安全管理者養成研修集合研修の演習企画・運営 日本看護協会主催の研修において、集合研修の演習企画運営を行い、54 名の受講者があった。 奈良県立医科大学附属病院 医療の質・安全管理センター長 辰巳満俊 氏に講義・演習支援、副センター長 堀川勝代 氏に演習を行ってもらった。 - 医療安全管理者のスキルアップと情報共有研修の開催 病院、施設において専従、専任の医療安全管理者を対象に各施設内での医療安全に関する活動、現場での医療安全活動についての悩みなどを共有し解決策を導き現場に活かせる研修を行い、12 名の受講者があった。	

◇ 規約委員会 ◇	委員長 橋口 智子
本委員会は 6 名の委員で構成され、公益社団法人に適した定款・諸規程の見直しやその他必要な規程の制定等について検討している。 2024 年度は、委員会を 8 回開催し、その主なものとしては、定款、給与支給規則、謝金等規程、職員旅費規程及び育児・介護休業等に関する規程の一部改正並びに BoneWave（骨ウェーブ）貸出しに関する規程の制定であり、公益社団法人として適正な運営を進めるため、理事会に上程するなどした。	

◇ 災害看護委員会 ◇	委員長 辻谷 太
本委員会はすべての地区支部からの委員 9 名で構成され、委員会を 10 回開催した。 【活動内容】 - 奈良県防災総合訓練参加支援（参加者の訓練場所配置やコントローラーの役割） 日 時：10 月 20 日（日）8：30～12：30 開催場所：都祁生涯スポーツセンター 参加者：災害支援ナース 32 名（委員を含む） 訓練場所：被災地（トリアージポスト・救護所）と避難所 2024 年度 災害支援ナース養成研修の演習担当及び協力 1) 災害編：2024 年 11 月 5 日（火）企画・運営 - 橿原市・橿原市自治委員連合会合同防災訓練（応急医療訓練企画・運営） 日 時：11 月 24 日（日）9：00～12：00 開催場所：橿原運動公園 参加者：災害支援ナース 11 名（委員を含む） 訓練場所：被災地（トリアージポスト・救護所） - 近畿大学奈良病院防災訓練（参加） 日 時：12 月 7 日（土）9：00～12：30 参加者：災害看護委員 9 名 訓練場所：災害拠点病院（トリアージエリア）	

◇ 認定看護管理者教育運営委員会（特別委員会） ◇	委員長 柏田 真由
定例会 4 回 構成員 5 名 【活動目的】 認定看護管理者教育課程ファーストレベルおよびセカンドレベルにおける教育課程の編成・企画・運営・評価に参加し、科目修了証明・教育課程修了証明に関する審議を行う。 【活動内容】 2024 年度認定看護管理者教育課程ファーストレベルについて - 受講者選考、受講者 56 名、修了判定 56 名 - 次年度運営方針と講師の検討 2024 年度認定看護管理者教育課程セカンドレベルについて - 受講者選考、受講者 26 名、修了判定 26 名（2023 年受講者 1 名を含む） 2024 年度認定看護管理者教育課程において講師及び演習支援 - 認定看護管理者教育機関更新審査準備と受審対応	

◇ 倫理審査委員会（特別委員会） ◇	委員長 高橋 久子
倫理審査委員会 1 回 本委員会は、6 名の委員会で構成され、所属施設に倫理審査委員会を持たない奈良県看護協会会員及び当協会の委員会等が実施する看護研究及び調査について 1 件の申請があり、基準に基づき倫理審査を行った。	

◇ 准看護師委員会（特別委員会） ◇	委員長 和田 康子
定例会開催：7 月 5 日・9 月 20 日・10 月 4 日・12 月 6 日・2025 年 1 月 24 日・3 月 7 日（6 回開催） 構成員：5 名 【活動内容】 1. 交流会 日 時：2025 年 1 月 24 日（金）13：30～16：30 13 時 30 分～16 時 30 分 目 的：准看護師がそれぞれの現状を語り合うために発言できる場を持ち、准看護師として働き易い環境で働き続けるための前向きな意見交換を行う 講 師：辻本由香 氏 （資格）・ファイナンシャルプランナー・キャリアコンサルタント・相続手続カウンセラー・証券外務員 1 種・健康経営エキスパートアドバイザー・両立支援コーディネーター 参加者：12 名 研修内容： ①講演「長生きをリスクにしないお金と暮らしの守り方・育て方」 ②看護職者として働きながら子育てや介護を両立するための対応の対策について ③フリートーク形式で参加者と講師の意見交換 交流会では参加者が少なかったが、人生設計における将来の貯蓄や老後資金に対し濃密な意見交換ができた。	